

'10年度第3四半期決算



2011 1. 31
TOTO

◆ 売上・利益とも大幅に改善。

2010年8月発売した新商品が好調に推移。

「Vプラン2017」などコストリダクションを計画通り推進し、

第3四半期としては4年ぶりの増収・増益。

【国内住設事業】

・リモデル: 10月～12月において売上は前年比+7%と大きく伸長。

お客様のショールーム来館数も昨年を大きく上回り、第3Q累計売上は前年比+5%。

・新 築 : 戸建の回復により10月～12月で前年比+4%とプラスに転じたが、累計で前年比▲8%。

・レストルーム商品の売上は前年比+6%。8月に発売した4.8L節水便器が軒並み好調。

【海外住設事業】

・米 州: 現地での売上は前年並みまで回復したものの、円高の影響を受け累計では前年比▲7%。

・中 国: 引き続き大都市圏での需要が旺盛。売上前年比+23%、営業利益+49%と好調を維持。

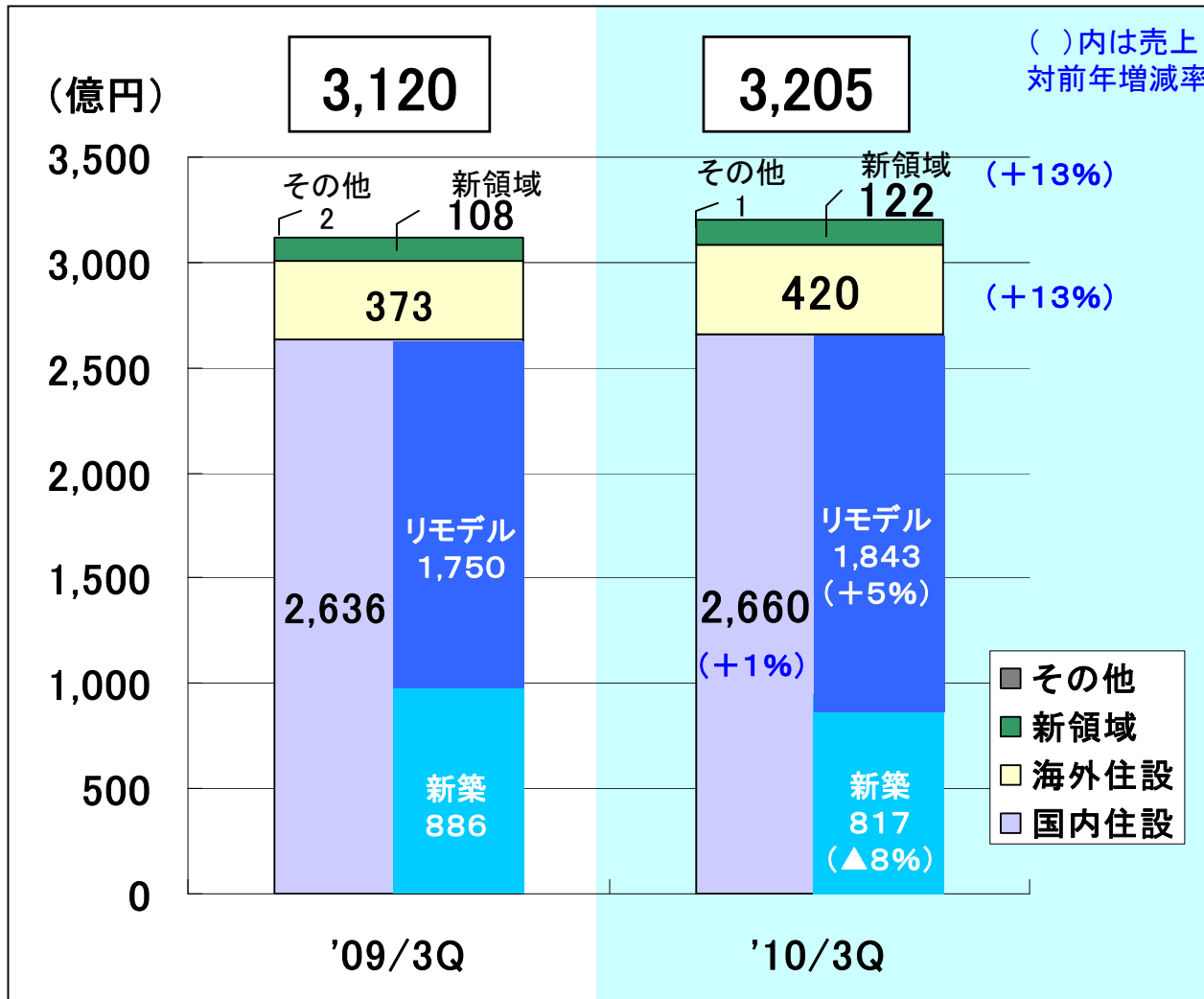
【新領域事業】

・セラミック事業がけん引し、売上は前年比+13%と伸長。

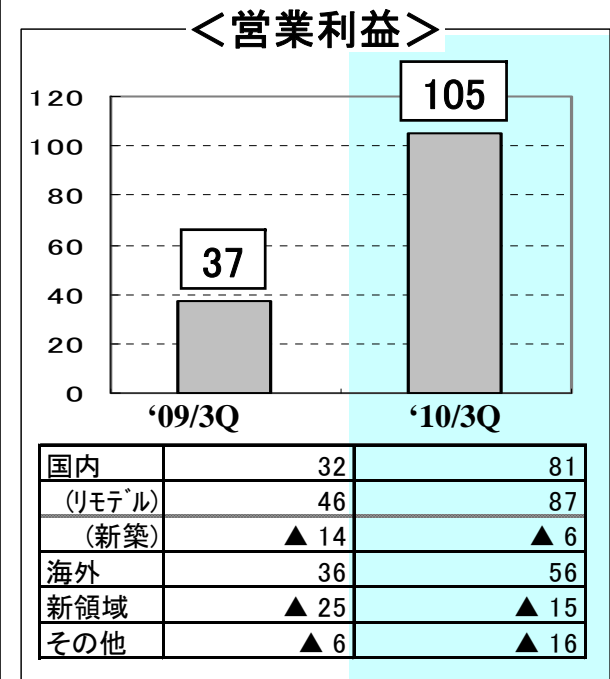
単位: 億円(未満は切り捨て)

	前年度 実績	'10年度 第3四半期		対前年増減 (増減率)
		計画	実績	
売上高	3,120	3,177	3,205	+85 (+2.7%)
営業利益	37	88	105	+68 (+182.0%)
経常利益	42	87	101	+58 (+137.5%)
特別損益	▲15	▲22	▲21	▲6
当期純利益	▲6	30	46	+52

需要分野別売上高



注：
マネジメントアプローチの導入にあたり、
今期より需要分野別の開示を以下
4つに変更
『国内住設事業』 『海外住設事業』
『新領域事業』 『その他』



国内住設の商品別売上高

TOTO

	'09/3Q	'10/3Q	
	売上高 (億円)	売上高 (億円)	前年比 (%)
レストルーム計	1,007	1,067	+ 6%
水栓機器			+ 5%
浴室			▲ 5%
キッチン・洗面			▲ 1%
バス・キッチン計	1,489	1,488	± 0%
その他計	193	173	▲ 10%
合計(調整前)※	2,690	2,729	+ 1%
国内住設合計	2,636	2,660	+ 1%

※セグメント間の内部売上高又は振替高

海外住設の市場別売上高

TOTO

				現地通貨での業績			日本円での業績		
				(単位:百万ドル)			(単位:億円)		
	米州	'09/3Q	'10/3Q	増減率	'09/3Q	'10/3Q	増減率		
売上高		146.9	147.2	+0%	132.5	123.4	▲7%		
営業利益		3.3	3.9	+19%	3.0	3.3	+10%		
(為替 円/\$)		90.21	83.82						
				(単位:億人民元)			(単位:億円)		
	中国	'09/3Q	'10/3Q	増減率	'09/3Q	'10/3Q	増減率		
売上高		12.7	16.6	+30%	168.9	208.5	+23%		
営業利益		2.9	4.6	+57%	39.2	58.5	+49%		
(為替 円/人民元)		13.21	12.51						
				(単位:百万ユーロ)			(単位:億円)		
	欧州	'09/3Q	'10/3Q	増減率	'09/3Q	'10/3Q	増減率		
売上高		10.6	14.2	+34%	14.0	16.3	+17%		
営業利益		▲9.0	▲12.3	-	▲11.9	▲14.1	-		
(為替 円/ユーロ)		131.72	114.24						
				(単位:百万ドル)			(単位:億円)		
	アジア・オセアニア	'09/3Q	'10/3Q	増減率	'09/3Q	'10/3Q	増減率		
売上高		64.2	86.2	+34%	57.9	72.3	+25%		
営業利益		7.0	9.8	+39%	6.4	8.2	+30%		
(為替 円/\$)		90.21	83.82						
				(単位:億円)			合計		
		'09/3Q	'10/3Q	増減率	'09/3Q	'10/3Q	増減率		
		373.5	420.6	+13%					
		36.7	56.0	+52%					

米州:プロモーション活動の強化により売上は前年並みまで回復。

中国:沿岸部の大都市が依然堅調。内陸部の需要も旺盛。

欧州:売上は前年を上回るが、マーケティング費用が先行。

営業利益の増減益要因(前年差異)

TOTO

単位:億円(未満は切り捨て)

増減要因			'10/3Q 実績	
プラス 要因	コストリダクション	従前のコストリダクション	+37	+ 56
		Vプランコストリダクション	+19	
	リモデル売上高の増加			+ 36
	海外売上高の増加			+ 17
	経費削減(販管費など)			+ 37
	新商品準備生産による増産益			+ 12
	その他			+ 8
マイナス 要因	新築売上高の減少			▲ 21
	販売強化投資			▲ 54
	原材料の値上がり			▲ 20
	販売価格の下落・普及品の拡大			▲ 3
合計				+68

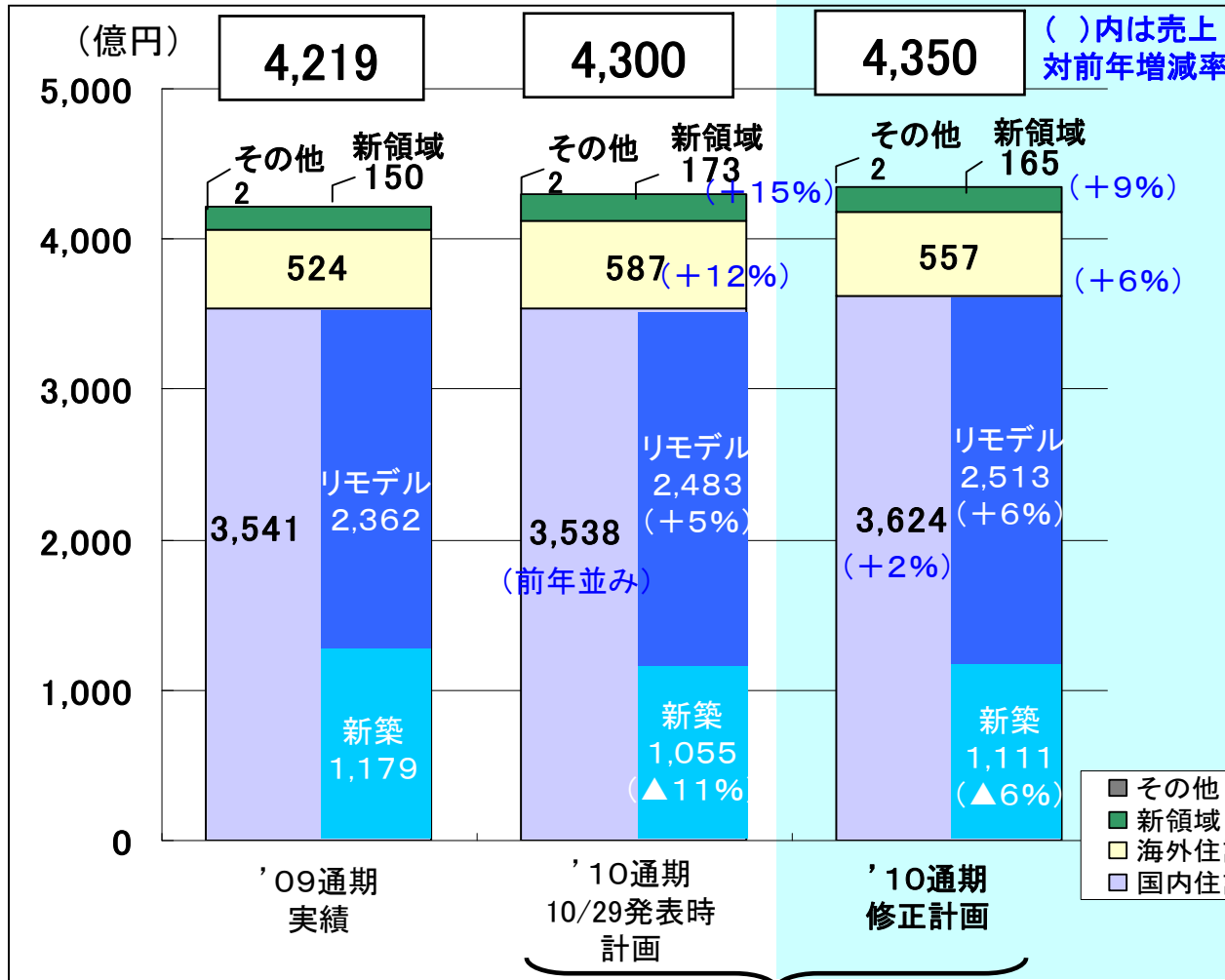
'10年度通期計画（修正）

単位：億円（未満は切り捨て）

	'09／通期 実績	'10／通期		対前年増減 (増減率)
		10/29発表	修正	
売上高	4,219	4,300	4,350	+131 (+3.1%)
営業利益	65	120	150	+85 (+127.6%)
経常利益	73	120	145	+72 (+97.6%)
特別損益	▲20	▲22	▲40	▲20
当期純利益	8	50	60	+52 (+582.8%)

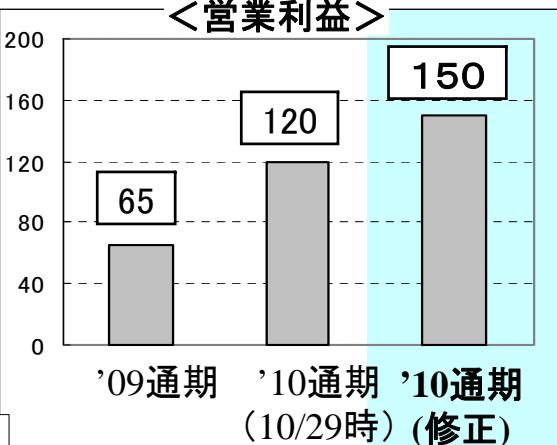
国内住設事業の伸長とコストリダクションにより通期の計画を修正

需要分野別売上高（通期計画 修正）



単位: 億円 (未満は切り捨て)

注:
 マネジメントアプローチの導入にあたり、
 今期より需要分野別の開示を以下
 4つに変更
 『国内住設事業』 『海外住設事業』
 『新領域事業』 『その他』



国内	44	80	113
(リモデル)	66	100	118
(新築)	▲21	▲20	▲5
海外	60	76	80
新領域	▲26	▲17	▲21
その他	▲12	▲19	▲22

新築着工戸数(1-12月) 79万戸 80万戸 (+1%)
 納入時期ベースの需要 90万戸 81万戸 (▲11%)

新築戸建需要の回復とリモデル販促活動を強化し、売上4,350億円、営業利益150億円を見込む

海外住設の市場別売上高(通期計画 修正)

TOTO

現地通貨での業績				日本円での業績		
(単位:百万ドル)				(単位:億円)		
米州	'09/通期	'10/通期	増減率	'09/通期	'10/通期	増減率
売上高	192.9	198.3	+3%	177.7	161.6	▲9%
営業利益	6.1	7.4	+21%	5.6	6.0	+7%
(為替 円/\$)	92.10	81.49				
(単位:億人民元)				(単位:億円)		
中国	'09/通期	'10/通期	増減率	'09/通期	'10/通期	増減率
売上高	17.9	22.3	+24%	242.3	274.9	+13%
営業利益	4.4	6.3	+43%	59.8	78.0	+30%
(為替 円/人民元)	13.49	12.30				
(単位:百万ユーロ)				(単位:億円)		
欧州	'09/通期	'10/通期	増減率	'09/通期	'10/通期	増減率
売上高	13.6	18.9	+39%	18.0	20.4	+13%
営業利益	▲12.5	▲15.8	-	▲16.5	▲17.0	-
(為替 円/ユーロ)	132.00	107.90				
(単位:百万ドル)				(単位:億円)		
アジア・オセアニア	'09/通期	'10/通期	増減率	'09/通期	'10/通期	増減率
売上高	94.3	123.4	+31%	86.9	100.6	+16%
営業利益	12.9	15.9	+23%	11.9	13.0	+9%
(為替 円/\$)	92.10	81.49				
				(単位:億円) 合計		
				'09/通期	'10/通期	増減率
				524.9	557.5	+6%
				60.8	80.0	+32%

米州:トイレのみならずスイート商品など空間提案を強化する。

中国:旺盛な需要に応えるため、さらなる供給体制を構築中

欧州:著名物件の指定獲得、販売網強化活動を継続。

営業利益の増減益要因(通期計画 修正)

TOTO

単位:億円(未満は切り捨て)

増減要因		'10/通期 当初計画 (10/29発表)	'10/通期 修正計画
プラス 要因	コストリダクション	従前のコストリダクション	+50
		Vプランコストリダクション	+23
		+73	+78
	リモデル売上高の増加	+44	+53
	海外売上高の増加	+22	+21
	経費削減(販管費など)	+45	+40
	新商品準備生産による増産益	-	+7
その他	+8	+8	
マイナス 要因	新築売上高の減少	▲37	▲21
	販売強化投資	▲70	▲72
	原材料の値上がり	▲26	▲28
	販売価格の下落・普及品の拡大	▲4	▲1
合計	+55	+85	

※一部計上項目を変更し
増減益計画を修正しました。

このプレゼンテーション資料は、2011年1月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO